

全体計画 活動しやすい配置計画

既存の校舎を利用しながらの改築工事であるので、配置計画が重要になってくる。工事中も生徒や職員の活動に支障がなくてはならない。前頁に示したローリング計画は、必要な教室を確保しながら、快適な環境を保った学校生活が送れるように行った。

- 敷地の南側に運動場を計画。運動場に面する位置に、管理棟と普通教室棟を、西日を避けるように特別教室と、屋内運動場を配置する。
- 駐車場は職員用が24台、来客用26台を計画。生徒用の駐輪場は20台とする。付属建物として部室を2棟、体育倉庫を運動場に、一般倉庫・温室を校舎側に配置する。

配置計画：校舎の配置 芝生の中庭を囲む配置

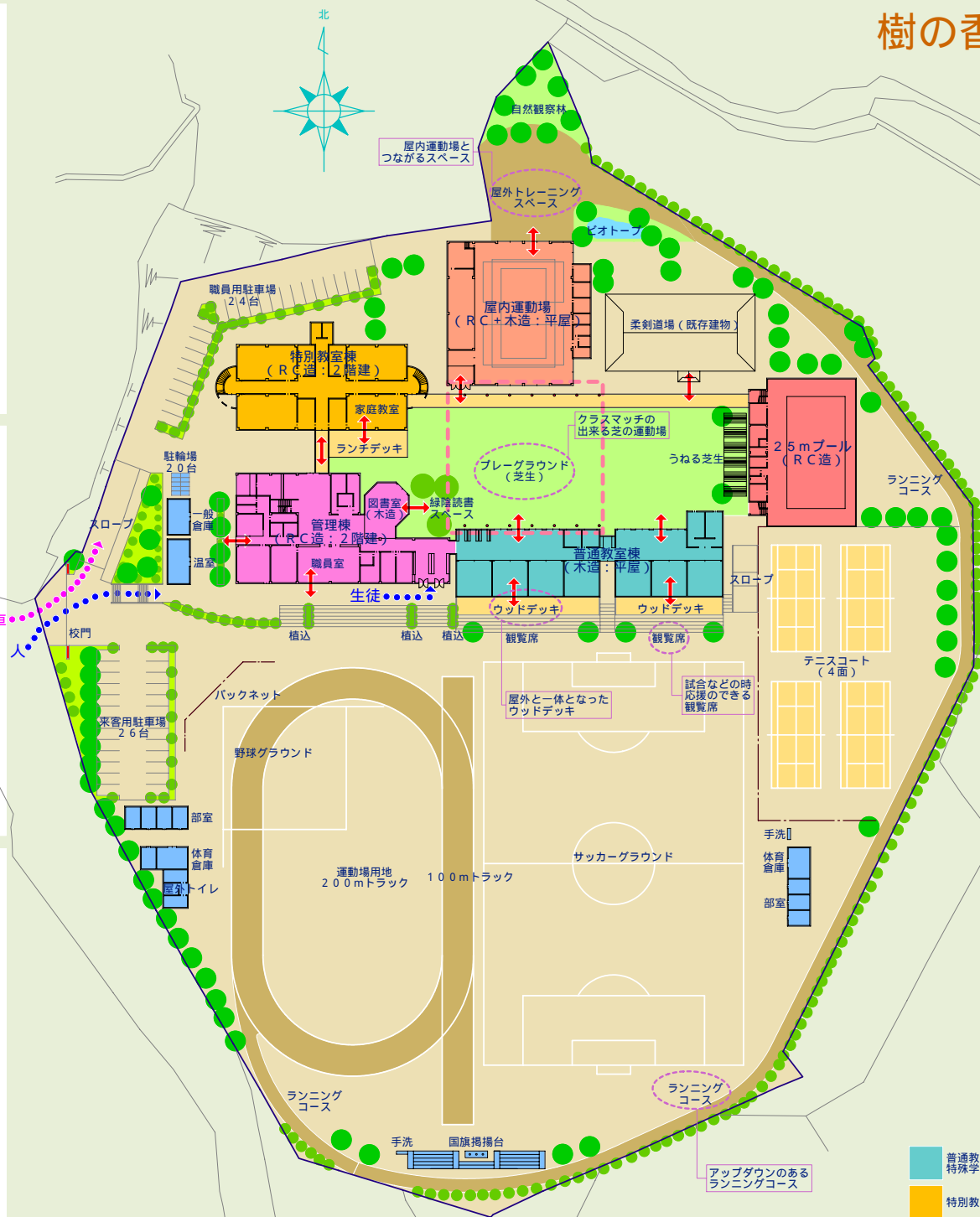
中庭を囲んで校舎を配置することで、領域（自分達の居場所）を形成されていく。誰もが自分の場所を持ち、心にゆとりを感じることができ、快適な生活環境を提案する。

- 図書室を学校のへそに当たる場所へ配置し、いつでも利用できるようにする。子供たちの知識欲を満たすことのできる施設配置とする。
- 教室の近くに芝生の屋外空間（プレーグラウンド）を計画し屋外での活動が出来るようにする。天気の良い日は全校朝礼も出来る。また、クラスマッチも芝生のグラウンドで行える。
- 普通教室の南側にはウッドデッキを計画し、運動場へ向けて観覧席を設ける。

配置計画：運動場 楽しくスポーツ

運動場施設は、既存の武道館に屋内運動場と観覧席を持つプールを新築する。運動場も校舎側に芝生のグラウンドを、野球・サッカーグラウンド・テニスコートを校庭に計画する。

- 敷地の周囲に高低差を利用したアップダウンのある往復1000mのランニングコースを計画する。並木沿いに楽しく走れるように植栽にも配慮する。
- テニスコートは4面計画する。また、野球とサッカーが同時に練習できるように配置を考え、お互いに怪我のないように考える。屋外の施設として、水飲み場を運動場の回りに配置し、屋外便所や外灯も計画する。



自然を感じる
ビオトープ
寝転べる芝生

自然観察の場として、ビオトープを計画する。小さな池を作り野生の植物を植え、小川を作り水を循環させる。
中庭には、木陰を造りうねった地形に芝生を植える。使い方は自由だ。寝転ぶのも良いし、起伏を利用して遊ぶのも良い。自由な発想で自然を楽しむ。



普通教室・特殊学級棟	プール棟
特別教室棟	屋内運動場
管理棟	附属棟

配置図
1:1000